

住民サービス向上の施策をはかれ

共働・共助の社会システムづくりを基本に取り組む



後迫 哲矢議員

高齢化、過疎化の進行は個人の生活や集落運営にも大きな支障をきたし、高齢者、障害者にとって厳しい生活が強いられている。

本町の11月末の高齢者人口は、4757人で総人口の30・06%であり、障害者も（1級〜6級まで）1163人で7・5%となっている。こうした現状を考慮して高齢者や障害者には、思いやりや気配りのある住民サービスをはかるべ

きと考えるが、次のことについて答弁を求める

- 1 公文書やお知らせを簡潔に大文字にできないか。
- 2 外来語よりも日本語の表現にはできないか。
- 3 法律用語や専門用語は解説を入れられないか。
- 4 個別配布の文書をまとめて綴れないか。
- 5 報告文書は朱書表示できないか。

集落担当職員の業務内容の拡充をはかれ

後迫議員
集落担当職員の配置は住民や集落、町との密接な町づくりに役立っている。

高齢者や障害者にわかりやすい対応施策に取り組む

町長
近年高齢者の増加や身体不自由な方々に対する行政サービスは、重要な

集落担当制度の検討

この制度をより効率的にするため、業務内容の拡充をはかって高齢者、障害者等への住民サービスははかれないか。

町長
集落担当職員の業務内容を拡充するには難しい問題もあり、慎重な対応が必要である。どのような取り組みができるか職員みんなと検討して取り組みを進める。

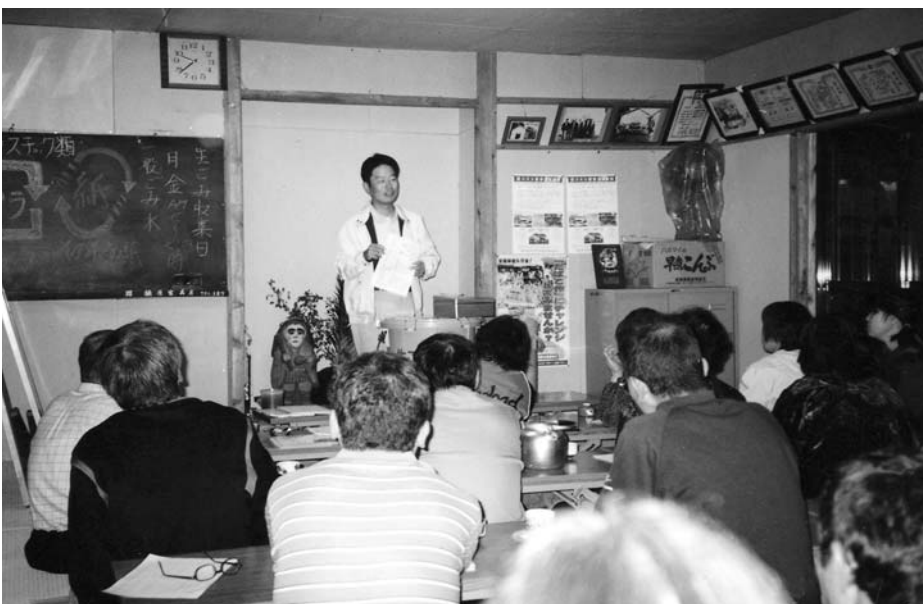
遠隔地にある集落の集会等の開催場所の見直しをはかれ

後迫議員
高齢者や障害者にとって、町が行う説明会や税申告等、人手を借りて行かねばならない方もある。本庁や支所から離れた広域開催場所の見直しをはかれないか。

開催場所の選定検討をはかる

町長
現在、全職員総動員でいろいろな業務に対応している。高齢者や障害者に対する住民サービスの充実の観点から、内容に

よって開催場所の選定や情報伝達収集方法を検討し、よりよい方法で住民サービスの向上に努める。



担当職員による集落での説明